

令和3年度

# 奈良市立看護専門学校

## 推薦入学試験問題

### 国語

試験時間 50 分（問題 1～18）

#### 注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。2つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏名

--

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

洋書では滅多にないことだが、日本のこの頃の本はたいてい箱入ほこいりになっている。これは発送、返品、その他の関係の必要から来ていることだろうが、(ア) 我々にはあまり有難くないことのように思う。だいいち本屋の新刊棚の前に立ったとき、そのためにたいへん単調な感じを受ける。どの本もどの本も皆一様に感じられる。どれかを開けて内容を調べてみようとしても、箱があるのは不便だ。開いて見て元の箱に納めようとすれば、本には薄い包紙が着けてあるので、私のような不器用者にはなかなかうまく入らず、ともすればその包紙を破ってしまう。他人の商品を毀損したようで何となく気持が悪い。店の者が横にらみで睨付けてはいはしないかと思わず赤い顔をすることもある。そういうわけで箱に入った本は本屋にせっかく陳列してあっても不精と遠慮とから開けてみないことが多い。内容を見もしないで表題だけで本を買うわけにもゆかないから、箱のことは出版屋の方で何とか工夫はないものであろうか。本を買って持って帰って読む段になると、私などはたいていの場合箱すは棄ててしまう。不経済な話だ。㉠

もっともこれは洋書を見慣れている我々の間だけのことも知れない。この国では本の箱はよほど大切なものとみえて、だいいち古本屋に払うとなると、箱があるとないとで値が違う。私の持っている本はほとんどみな箱がない。いつかも古本屋が来たとき「外国にいられた方は皆さんがこうです」とか言っていた。箱を大事にするということは書物を尊重するという日本人の道德の現われであるようにも思われる。私が子供の頃には、本を読み始める時と読み終わった時とには、必ずそれを手で推し戴いたいて頭を下げるように言い付けられたものだ。これは私の家庭でそうさせられたばかりでなしに、その時分私の村の小学校でもそのようにする習慣があった。この頃はどうか。このように本を尊重するというのはもちろん決して悪いことではなく、ひとつの美德でさえある。けれども一層大切なことは(イ) 本を使うということである。本を使うことを学ばなければならない。本は道具と同じように使うべきものだとすることをしっかり頭に入れることが書物に対する倫理である。しかしどう使うかが問題だ。㉡

そのような意味で誰かの文庫を調べてみると面白い。沢山に本が集めてあっても案外使えない文庫がある。それは持主が自分の文庫を使っていない証拠であり、またそれをほんとうに愛していない証拠である。もっとも使う目的にも使い方にも人によって色々相違があろう。そこである人の文庫を見ればその人の性格がおのずから現われている。そこに文庫の倫理とでもいうべきものがある。文庫を見れば主人が何を研究しているかというようなことが分る以外に、そこに更に深いもの即ちその人の性格が自然ににじみ出ているのが面白い。本は自分に使えるように、最もよく使えるように集めなければならない。そうすることによって文庫は性格的なものとなる。そしてそれはいわば一定のスタイルを得て来る。自分の文庫にはその隅々に至るまで自分の(ウ) 息がかかっているなければならない。このような文庫は、丁度立派な庭作りの作った庭園のように、それ自身が一個の芸術品でもある。㉢

そしてこのように性格的あるいは個性的であることを私は特に今日の出版業者に向って希望したい。我が国の本屋は外国の本屋に比べてどうも個性が薄いように感じられないであろうか。ドイツのトイプネルにしてもジーベックなどにしてもそこから出る本にはそれぞれ一定の特色がある。フランスあたりの本屋にしても、こんな本は多分アシェットから出ているだろう、恐らくアルカンから出ているだろうと見当がつくぐらいである。(エ) 日本ではある本屋がある形式、ある種類の本を出して成功すると、すぐ他で模倣する者が大勢出て来る。その結果つまり互に弱め合うということになる。出版においても銘々をもっと創意を貴び合うようになってほしい。

その本屋から出る本は内容装釘共に全体としてきちんとした一定の特色が貫いているというのが好ましいことだ。そういう色がすぐさま読者の頭に思い浮ぶことのできるようにして貫きたい。それが **(オ)** 本屋の倫理ではないかと思う。①

善い本を繰り返して読むということは平凡な、しかし思い出す毎に身につまされる読書の倫理だ。先達でもフロベールの手紙を読んでいたら、次のような文句があったので、私はまたアンダーラインした。「作家の文庫は、彼が毎日繰り返して読まねばならぬ源泉であるところの五冊か六冊までの本から成っているべきである。その余の本について言えば、それを知っているのはよいことだ、しかしそれきりのことである」。繰り返して読む愛読書をもたぬ者は、その人もその思想も性格がないものである。ひとつの民族についても同様であって、民族が繰り返して読む本もっているということは必要だ。それが古典といわれるものである。かくの如き **(カ)** 古典の復刻 ということは出版業者にとってもひとつの重要な意味のある仕事でなければならぬ。しかしながらまたそのようなことは我々が多くの本を集めるということと矛盾しない。公共の図書館にしても個人の文庫にしても本が多ければ多いほどよいのはもちろんだ。本は道具と同じように使うべきものであるからである。そして使うということはそれをことごとく始めから終わりまで読むことと同じでない。ある本については、単にそれがあるということ、ただその表題だけを知っているということも十分有益である。もっとも度々繰り返して読む愛読書をもたない人はその余の本を如何に使うべきかを学ぶこともできないであろう。② (三木清「書物の倫理」による)

問題 1 次の文は本文の一部である。④～⑤のうち最も適当な挿入場所はどこか。一つ選択せよ。

「本を書く者にしても、真面目な著者であれば、彼の本が少なくとも二度は必ず読まれることを希望しているであろう。」

- 1 ④                      2 ⑤                      3 ③                      4 ②                      5 ①

問題 2 下線部 **(ア)**「我々にはあまり有難くないことのように思う」とあるが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 本の内容よりも箱の装飾が重視されるようになったから。
- 2 我々が本を発送したり、返品したりすることは滅多にないから。
- 3 箱に入れる分だけ、本の値段が無駄に上がってしまうため。
- 4 本の個性が感じられなくなり、内容の確認もしづらくなるから。
- 5 自分の文庫に本を並べるとき、洋書とのバランスが悪くなるから。

問題 3 下線部 **(イ)**「本を使うということ」とあるが、そのためにはどうすればよいと筆者は述べているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 すべてのページを読み切ること。
- 2 何度も繰り返して読むこと。
- 3 あらゆる分野の本を収集すること。
- 4 傷を付けないよう慎重に取り扱うこと。
- 5 洋書も日本の本と同様に読むこと。

問題4 下線部(ウ)「息がかかって」は本文中でどのような意味で用いられているか。最も適切なものを一つ選択せよ。

- 1 見た目に気を遣っていること。
- 2 自らの意思に基づいていること。
- 3 権利の所在を明確にすること。
- 4 見える範囲に設置すること。
- 5 しっかり箱にしまっていること。

問題5 空所(エ)に当てはまる最も適切な語句を一つ選択せよ。

- 1 ところが
- 2 ようするに
- 3 かえって
- 4 なぜならば
- 5 それゆえ

問題6 下線部(オ)「本屋の倫理」とあるが、どういうことか。最も適切なものを一つ選択せよ。

- 1 本を棚に陳列する際、その色使いを工夫すること。
- 2 人気のある作品を積極的に入荷すること。
- 3 箱から出して本を陳列すること。
- 4 読者と作家の交流の場を設けること。
- 5 取り扱う本に一定の特色を持たせること。

問題7 下線部(カ)「古典の復刻ということは出版業者にとってもひとつの重要な意味のある仕事」とあるが、その理由として最も適切なものを一つ選択せよ。

- 1 古典の復刻によって、伝統的な読書の作法を普及させることができるから。
- 2 古典の復刻は、子どもたちに歴史を学ばせる絶好の機会であるから。
- 3 古典は、民族が繰り返し読み続ける書物として必要不可欠なものであるから。
- 4 ひとつの民族が築いてきた歴史を形にして保存する必要があるから。
- 5 古典の復刻が多くの本を集めることに繋がるから。

問題8 a～dのうち、本文の内容と合致するものの組み合わせとして正しいものを一つ選択せよ。

- a 本の流通に関して、ドイツとフランスは先進的な取り組みをしている。
- b 本を尊重することを美德と捉えてしまうのは、日本の悪い慣習である。
- c 本を道具と同じように扱うべきだという考え方は、公共の図書館にも当てはまる。
- d 持ち主によって文庫が使われていなければ、それを芸術品と呼ぶことはできない。

- 1 aとb
- 2 aとc
- 3 bとc
- 4 bとd
- 5 cとd

第2問 次の各問いに答えよ。

問題9 下線部の漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 彼は躊躇なく前言を翻(ひっくりかえ)した。
- 2 市井(いちい)の人々の声を聴くことが大切だ。
- 3 明日の旅行は準備万端(まんたん)整った。
- 4 友人から貴重な古文書(こもんじょ)を譲り受けた。
- 5 悪事を唆(はたらか)される。

- (2) 1 朝は雑炊（ぞうに）を食べた。  
 2 祭りには老若男女（ろうにやくなんによ）が集まった。  
 3 これは随分と灰汁（はいじる）の強い文章だ。  
 4 貨幣を鑄造（じゅぞう）する。  
 5 夢と現実とが交錯（こうさ）する。
- (3) 1 彼は自分の職務を遂行（ついこう）した。  
 2 生徒を引率（いんりつ）して美術館へ行く。  
 3 毒クモに刺されて皮膚が壊死（かいし）する。  
 4 組織では上意下達（じょういかたつ）が重視される。  
 5 ウイルスの蔓延<sup>まんえん</sup>で計画が画餅（えもち）に帰した。

問題 10 下線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 お祝いに仲間を集めて大番振る舞いする。  
 2 彼らは破竹の勢いで決勝まで勝ち進んだ。  
 3 彼は親不幸な息子を持ったことを嘆いている。  
 4 彼は地道に努力しているので大器晩生するだろう。  
 5 このあたりでは土地感がないため、迷子になる恐れがある。
- (2) 1 思い出が走馬頭のように浮かんだ。  
 2 彼女は臨期応変に対応した。  
 3 彼女の心の中に葛藤が生じた。  
 4 加酷な条件で働かされる。  
 5 木で花をくくるような態度を取る。
- (3) 1 彼の言い訳を一投両断した。  
 2 バーゲン品に客が殺倒する。  
 3 彼は病院で手熱い看護を受けたため回復した。  
 4 貧しい生活も仕事が規道に乗るまでの辛抱だ。  
 5 長年にわたる両国の争いに終止符が打たれた。
- (4) 1 友人らと胸襟を開いて語り合った。  
 2 黙否権を保障する。  
 3 反対されると私の立つ背がない。  
 4 私の母は有福な家で育った。  
 5 彼の素早い行動が攻を奏した。

問題 11 次の傍線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 彼は振られてから恋愛にオク病になった。  
 1 退職後、過ぎ去った日々を追オクしている。  
 2 彼女は心のオク底から後悔している。  
 3 宝くじが当たってオク万長者になった。  
 4 古い家オクのため建て替える必要がある。  
 5 あの人は、いつもオク面もなくしゃしゃり出る。

(2) 幼い頃を回コする。

- 1 日頃のご愛コにおこたえする。
- 2 ここには一人の縁コもない。
- 3 会社から解コされてしまった。
- 4 父親は身をコにして働いた。
- 5 確コたる意志を持って取り組む。

(3) 犯人が犯行の動機をキョウ述した。

- 1 大きな船が海キョウを通過した。
- 2 その番組は人々に悪影キョウを及ぼす。
- 3 化粧品店で試キョウ品を沢山もらってきた。
- 4 遊園地の絶キョウマシンには2度と乗りたくない。
- 5 一部にはキョウ量な考え方をする人もいる。

問題 12 次のうち「威嚇」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 口論                      2 武力                      3 憤慨                      4 脅迫                      5 糾弾

問題 13 次のうち「隠蔽」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 報道                      2 発見                      3 暴露                      4 周知                      5 究明

問題 14 次の語句の意味として正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) オペレーション

- 1 機械などを操作すること。
- 2 進む方向を示して人や物をみちびくこと。
- 3 ある出来事や状況に応じて適当な処置をとること。
- 4 周囲の状況・条件などによく合うこと。
- 5 二つ以上のものが一つに合わさること。

(2) コンフリクト

- 1 非常に厳格であること。
- 2 人の心をひきつけること。
- 3 対立したり、衝突したりすること。
- 4 混乱したり、混雑したりすること。
- 5 多業種間にまたがる巨大企業のこと。

問題 15 次の言葉の意味として正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 背に腹はかえられぬ。

- 1 さまざまに方法を替えてやってみようすること。
- 2 人にはそれぞれ与えられた役割分担があるから、よけいなお節介をするなどという戒めのこと。
- 3 ある二つの命題が、相互に対立・矛盾すること。
- 4 大事なことのためには、他のことが犠牲になってもやむを得ないというたとえのこと。
- 5 一步も退くことのできない立場に立ち、必死の覚悟で事に当たること。

(2) 爪に火を点す。<sup>とも</sup>

- 1 頭の中で考えただけで、実際には役に立たない意見や理論のこと。
- 2 ひどくけちなことや、せっせと儉約するたとえのこと。
- 3 財産や権力を得て、ぜいたくの限りを尽くすこと。
- 4 苦しい局面を打開するための方法が見つからず、手のほどこしようがないこと。
- 5 他人のためにあえて危険なことをするたとえのこと。

(3) 孤軍奮闘

- 1 手助けするものが誰もいない中で、一人で懸命にがんばること。
- 2 集団全員の熱意ややる気がそがれて、勢いがなくなること。
- 3 多くの敵と戦うには、味方の人数が少なく、勝ち目がないこと。
- 4 攻める方も守る方も、智慧を尽くし、万策をもって戦うこと。
- 5 互いに相手のすきをねらい、さまざまな策略や手段を使って戦うこと。

問題 16 次の意味を表す言葉として正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 一見真理に反するよう見えて、よく考えると一面の真理を表している説のこと。

- 1 アイデンティティ
- 2 アセスメント
- 3 エゴイズム
- 4 オーソリティ
- 5 パラドックス

(2) 性質がさっぱりしていること。

- 1 角が取れる
- 2 肩で風を切る
- 3 竹を割ったよう
- 4 にべもない
- 5 立て板に水

(3) 口先だけのお世辞やお愛想のこと。

- 1 舌先三寸
- 2 手練手管
- 3 権謀術数
- 4 外交辞令
- 5 人面獣心

問題 17 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 緊張のため、面接で何を聞かれたかうる覚えだ。
- 2 石にしがみついてもやり遂げたい。
- 3 彼との議論で痛いところをつつかれた。
- 4 復讐しても恨みを果たすことはできない。
- 5 うまくできたと悦に浸る。

問題 18 次の記述に当てはまる人物の名前として正しいものを一つ選択せよ。

この人物は、小説家・劇作家・評論家・翻訳家・軍医である。日本の衛生学の開拓者でもある。

陸軍軍医のかたわら「しからみ草紙」などを刊行して多彩な文学活動を展開した。晩年は歴史小説・史伝に進んだ。主な作品として「舞姫」「青年」「雁」「阿部一族」など多数ある。

- 1 武者小路実篤
- 2 森鷗外
- 3 高村光太郎
- 4 志賀直哉
- 5 有島武郎

以 上